アセスメントの方法

・障害特性に基づくアセスメント

アセスメントの方法

演習１
具体的な
アセスメントの方法
60分

演習２
障害特性に基づくアセスメント
90分

ⅰ）氷山モデルについて

ⅱ）課題となる行動の確認

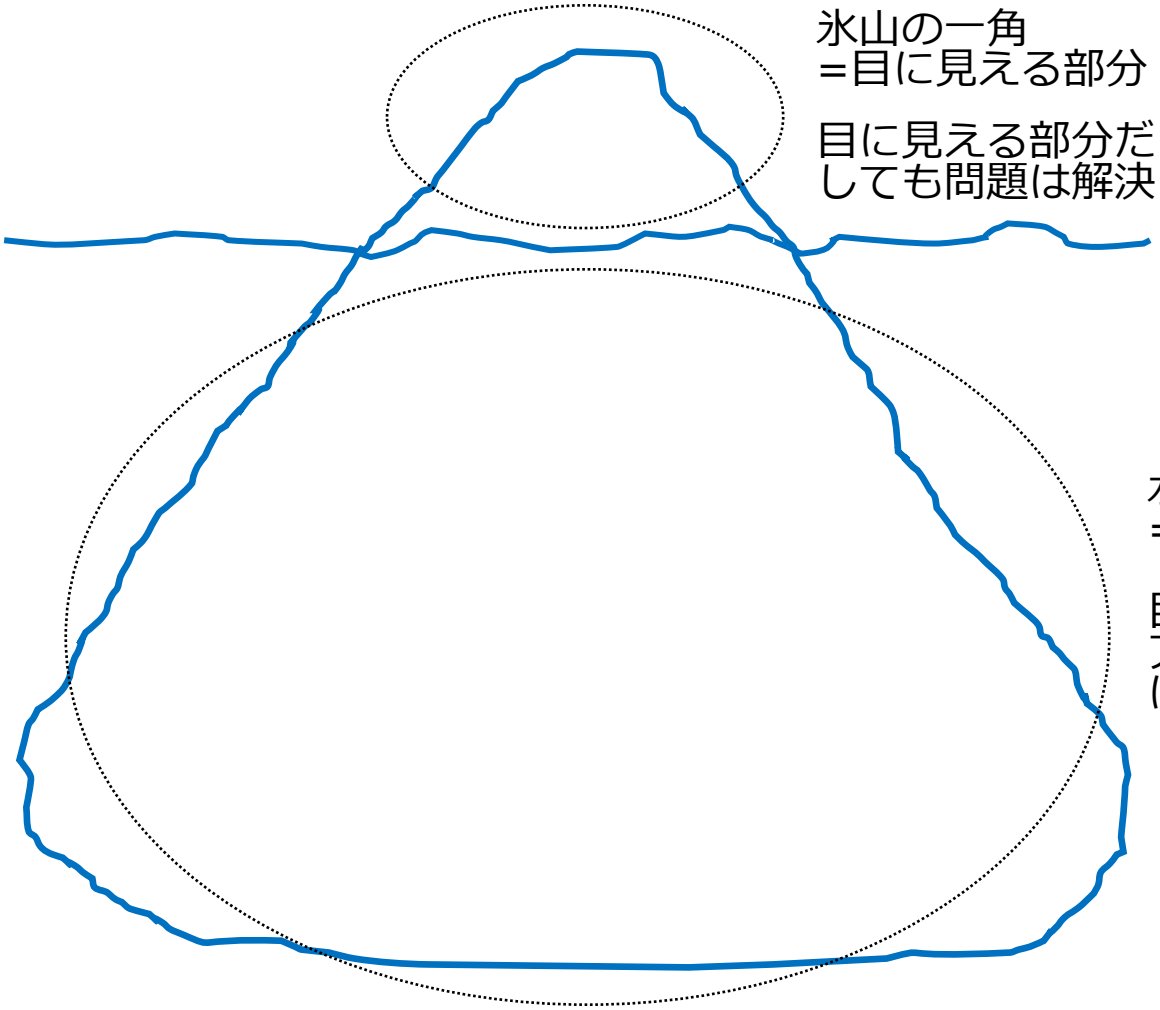
ⅲ）本人の特性を整理する

ⅳ）行動が現れている環境や状況を整理する

ⅴ）必要なサポートを整理する

ｉ）氷山モデルについて

行動の背景を知るための「氷山モデル」



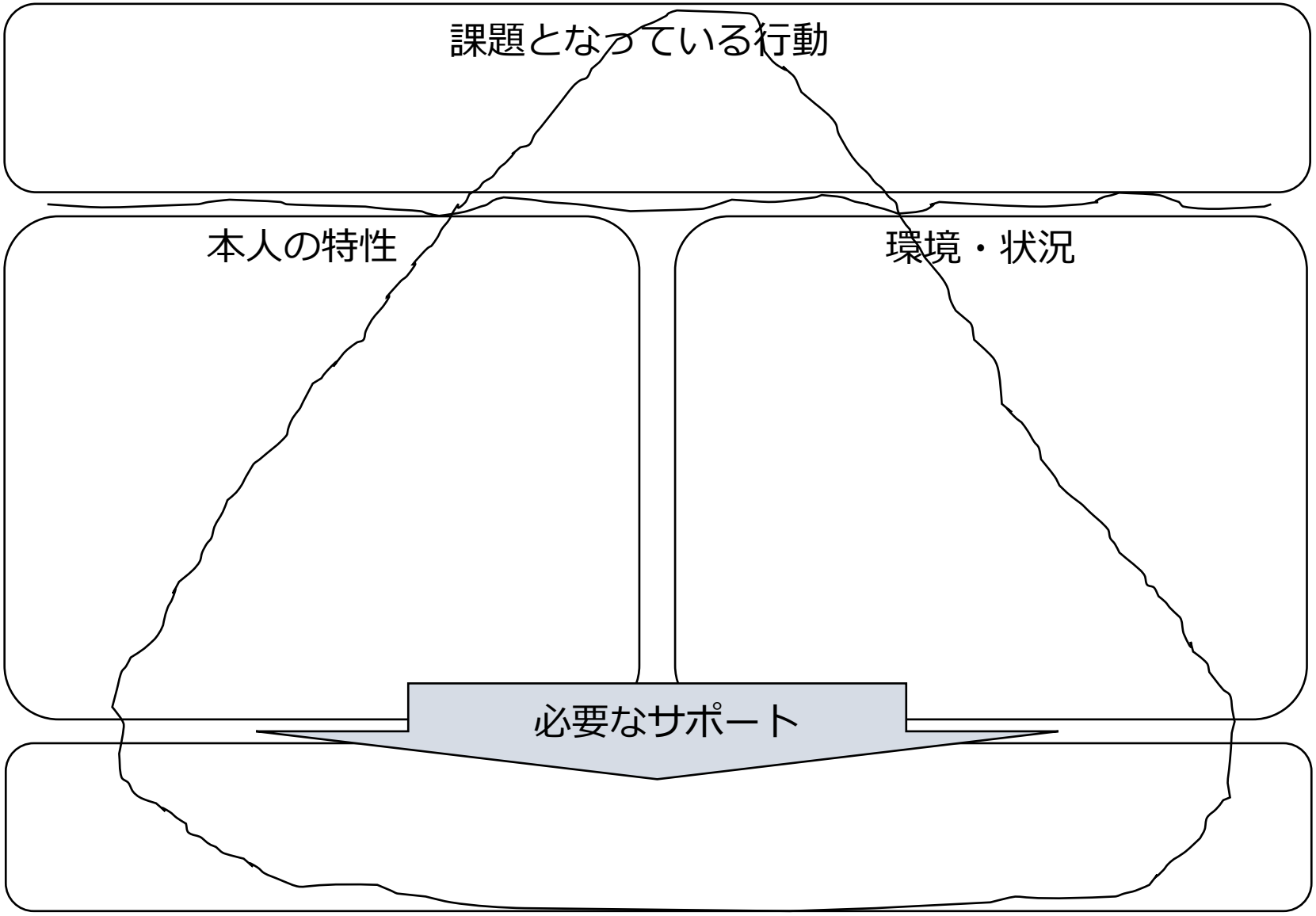
氷山の一角
=目に見える部分

目に見える部分だけに対応をしても問題は解決しない。

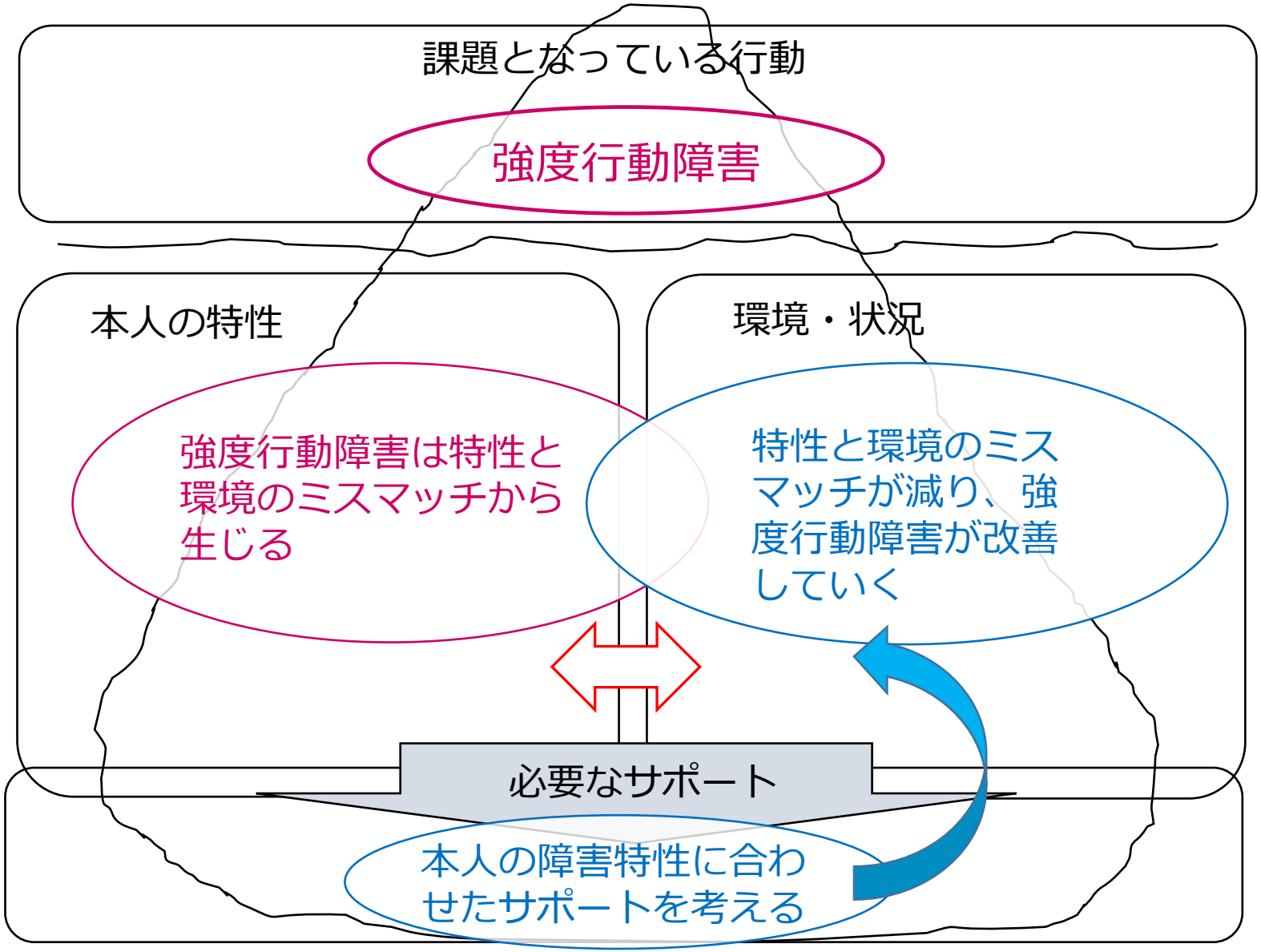
水面下に大きな塊がある
=目に見えない部分

目に見えない部分を理解してアプローチすることで、表面に出ている問題が小さくなる。

氷山モデルシート



氷山モデルシート


課題となっている行動
強度行動障害
本人の特性
環境・状況
強度行動障害は特性と環境のミスマッチから生じる
特性と環境のミスマッチが減り、強度行動障害が改善していく
必要なサポート
本人の障害特性に合わせたサポートを考える

氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア：視線が合わない		
		イ：人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ：相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ：周囲に合わせて行動できない		
		オ：周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ：危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ：言葉で指示をしても行動できない		
		ク：言葉で指示されたことを勘ちがいをする		
		ケ：相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）		
	発信が難しい	コ：行動や仕草などで自分の気持ちを伝えることができない		
		サ：言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ：言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス：やりとりがかみ合わない		
		セ：やりとりが続かない		
		ソ：唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ：やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ：自分から動くことができない		
		ツ：予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ：自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト：日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ：活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ：特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ：自分の興味があるもの以外に聞く耳示すことができない		
		ネ：頼まれごとが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ：耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある		
		ハ：眩しがる、目を閉じる、対応を嫌がる、キョキョロ見回す、などの行動がある		
		ヒ：特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある		
		フ：苦しい臭い、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、などの行動がある		
		ヘ：特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ：クルクル回る、ウォッチングが多い、臭い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）？			↓
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1）相手への関心が薄い	A）退み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見た万の視点・やりとりの視点)
		2）相手から期待されていることを理解するのが難しい	B）誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える（見た万の視点・やりとりの視点）
		3）相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4）周囲で起こっていることへの関心が薄い	C）「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える（方法の視点・やりとりの視点）
		5）周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6）見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7）話し言葉の理解が難しい	D）本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見た万の視点）
		8）一度にたくさんのことを理解するのが難しい	
		9）抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10）話し言葉で伝えることが難しい	E）本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見た万の視点）
		11）どのように伝えたらいいか分からない	
		12）誰に伝えていいか分からない	
	やりとりが難しい	13）場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	F）視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見た万の視点）
		14）表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15）やりとりの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16）段取りを順序に組むことが難しい	G）本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点）
		17）なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18）今やることを自分で判断することが難しい	H）始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点）
	変化への対応が難しい	19）先の予測をすることが難しい	
		20）臨機応変に判断することが難しい	I）活動に意味や目的を持つことができる工夫をする（方法の視点）
		21）自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22）興味関心が狭くて強い	J）最初から正しい方法で行うことができるようにする（方法の視点）
		23）細部が気になり強いに敏感	
		24）少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25）視覚の過敏や鈍麻がある	K）苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点）
		26）聴覚の過敏や鈍麻がある	
		27）触覚の過敏や鈍麻がある	L）好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
		28）嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29）味覚の過敏や鈍麻がある	
		30）前庭覚の特有の感覚がある	

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物はありますか 見えると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になることはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動きや感覚などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

強み（ストレングス）確認シート

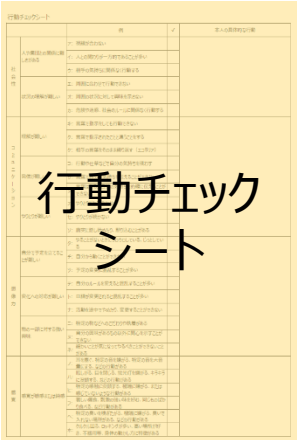
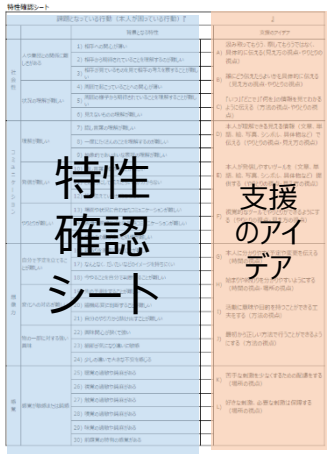
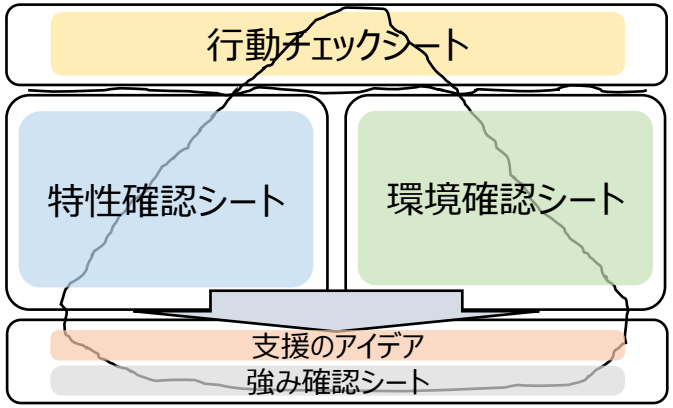
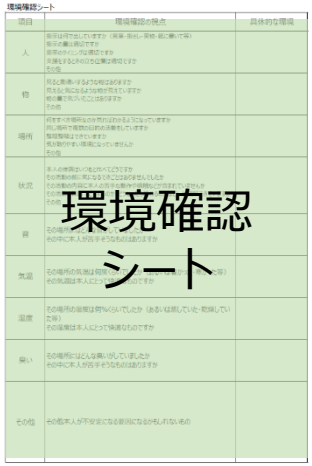
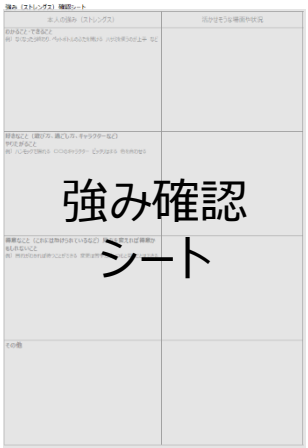
本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例）なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける　ハサミを使うのが上手　など	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） **やりたがること** 例）パンモックで揺れる　○○のキャラクター　ビタクリはまる　色を合わせる	
得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと 例）目的がわかれば待つことができる　変更は苦手だがいつもと同じことはできる	
その他	

行動チェックシート

特性確認シート

環境確認シート

強み確認シート

支援のアイデア

氷山モデルシートと補足シートの関係